

調査速報

外食需要動向（2018年10月）

比較的好天に恵まれ、家計の外食支出は前月の水準を上回った

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2018年10月の家計の実質外食支出金額は前月比2.5%増と再び増加した。
- 10月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比1.7%増と26か月連続で前年同月の水準を上回った。
- 客数（同2.2%増）は高い伸びとなったものの、客単価（同0.6%減）が15か月ぶりに前年同月の水準を下回った。大手ファストフードが携帯電話会社と共同で実施したキャンペーンの影響が強く出たと推察される。

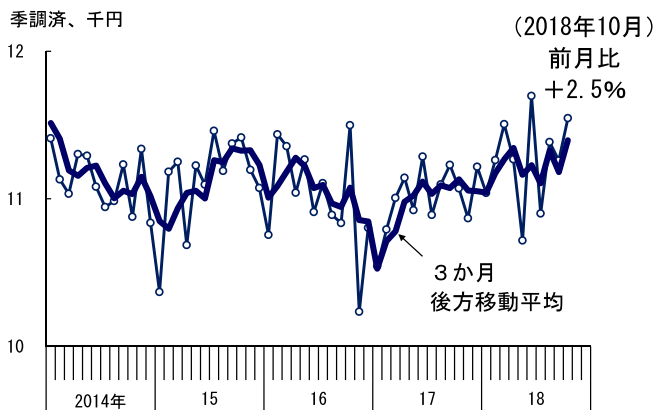
1. 10月の家計の実質外食支出は前月の水準を上回った

総務省が12月7日に発表した2018年10月の「家計調査」によると、全国の1世帯あたり実質外食支出（2人以上の世帯、学校給食を除く、季調済）は前月比2.5%増（前年同月比1.7%増）と再び増加した。当月は上旬に台風（24号、25号）の影響があったものの、中旬以降は比較的好天に恵まれ、また気温が平年を上回る日が多かったことなどから、行楽や買い物などの外出機会が増加し、家計の外食支出の増加につながったとみられる。また、3か月後方移動平均でみたトレンドも上昇に転じた。

2. 外食産業の26か月連続で前年同月の水準を上回った

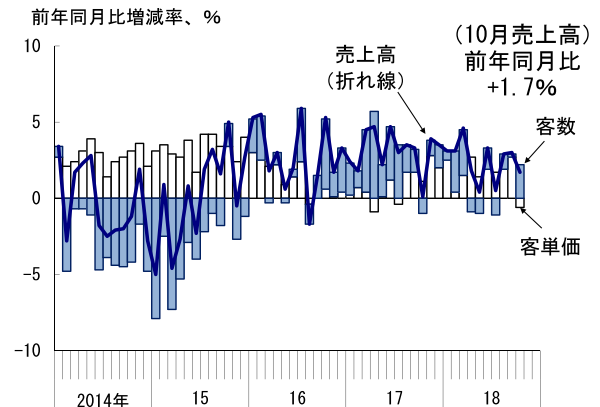
一方、一般社団法人日本フードサービス協会が11月26日に発表した「外食産業市場動向調査」によると、10月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比1.7%増と26か月連続で前年同月の水準を上回った。売上高の伸びを客数要因と客単価要因に分解すると、客数（同2.2%増）は高い伸びとなったものの、客単価（同0.6%減）が15か月ぶりに前年同月の水準を下回った。これは、後述するように、大手ファストフードが携帯電話会社と共同で実施したキャンペーンという特殊要因の影響が強く出たためと推察される。

図表1 10月の実質外食支出は前月比プラス
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：学校給食を除く外食（一般外食）。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラス
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. ファストフードではキャンペーン効果により客数が増加

2018年10月の外食チェーンの状況を業態別にみると、ファストフードは客数（前年同月比3.0%増）が高い伸びとなったが、客単価（同1.5%減）が8か月ぶりに前年同期の水準を下回った。この背景には、日本マクドナルドホールディングス株式会社（図表3では洋風ファストフードに含まれる）が携帯電話会社と共同で実施したキャンペーンの影響が強く出たことがあると推察される。これは、携帯電話会社が全ての個人契約者に、特定の日に使用可能なハンバーガーの無料クーポンを配布したものであった。その結果、日本マクドナルドホールディングス株式会社の10月の既存店客数は前年同月比7.9%増と集客効果がみられたが、既存店客単価は同6.4%減と落ち込んだ。

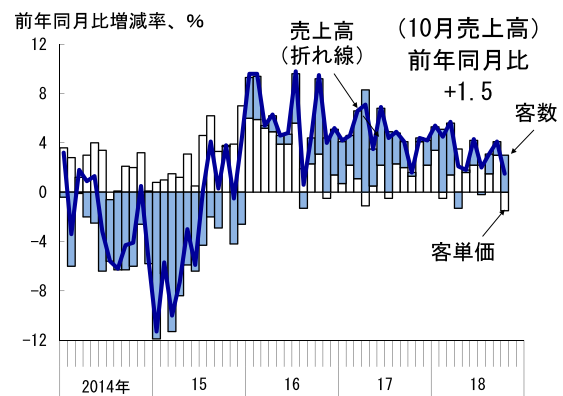
一方、ファミリーレストランではメニュー価格の値上げや積極的な高付加価値メニューの投入等により、客単価の上昇傾向が続いている。ただし、当月は客数（同0.6%減）が伸び悩んだことから、売上高（同0.7%増）は他業態に比べて低い伸びに留まった。その背景の一つとして、前述のキャンペーンによりファストフードに客足が流れた可能性があると考えられる。

なお、居酒屋の売上高（同4.1%増）は2012年3月以来の高い伸びとなった。客数（同3.9%増）の伸びが高いが、これは前年の客数（17年10月、同5.9%減）が台風や雨天などの影響により落ち込んだことの影響が現れた可能性が考えられる。

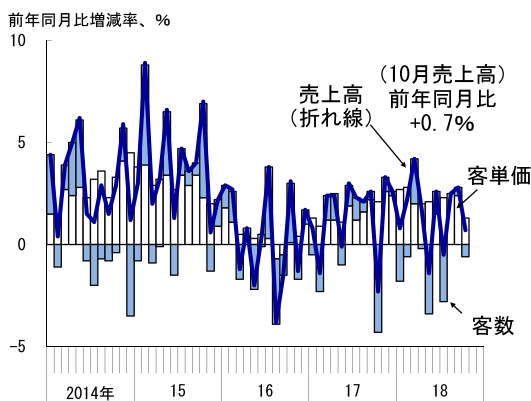
図表3 業態別の外食産業売上高（2018年10月、全店）

	(前年同月増減率)			
	売上高	店舗数	客数	客単価
全体	1.7%	0.3%	2.2%	-0.6%
ファストフード	1.5%	0.2%	3.0%	-1.5%
洋風ファストフード	-0.1%	-0.3%	5.6%	-5.4%
ファミリーレストラン	0.7%	0.5%	-0.6%	1.3%
パブ・居酒屋	3.6%	0.1%	3.9%	-0.3%
居酒屋	4.1%	0.1%	3.9%	0.2%
ディナーレストラン	1.9%	-1.0%	2.0%	-0.1%
喫茶	4.4%	0.5%	3.6%	0.7%
その他	4.9%	2.7%	3.2%	1.6%

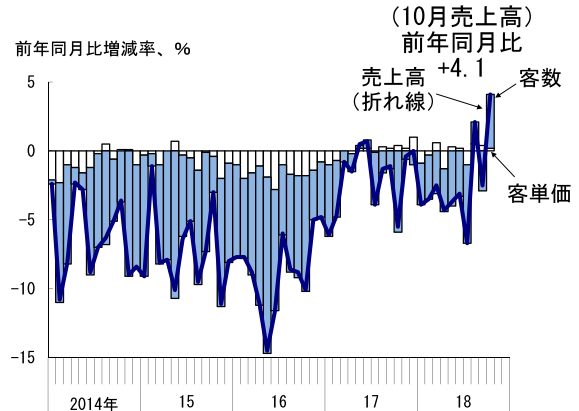
図表4 ファストフードの売上高の推移



図表5 ファミリーレストランの売上高の推移



図表6 居酒屋の売上高の推移



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。

注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。

出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。